

#### 4. 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

##### (1) 積立金の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
通則法第44条第1項積立金	-	62,148,429	62,148,429	-	(注1)
前事業年度繰越積立金	-	48,423,530	47,500,199	923,331	(注2)
計	-	110,571,959	109,648,628	923,331	

(注1)

当期増加額は、前事業年度の未処分利益からの積立てによるものである。

当期減少額は、注記の積立金の国庫納付等を参照のこと。

(注2)

当期増加額は、前事業年度の終了に伴い、以下の理由で積立金の繰越の承認を受けた額である。

①前払費用（保険料等）の費用化相当額 34,207,052円

②たな卸資産（制服等）の費用化相当額 14,216,478円

当期減少額は、附属明細書の4.(2)目的積立金の取崩しの明細を参照のこと。

(注記)

○ 積立金の国庫納付等
1 前事業年度の積立金の期末残高は0円であり、これに前事業年度の最終年度の未処分利益62,148,429円を加えると、積立金は62,148,429円となる。
2 この積立金62,148,429円のうち、今事業年度の業務の財源として繰越の承認を受けた額は48,423,530円であり、差し引き13,724,899円については国庫に納付した。

##### (2) 目的積立金の取崩しの明細

(単位：円)

区分	金額	摘要
前事業年度繰越積立金取崩額	47,500,199	たな卸資産および前払費用の費用化相当額
計	47,500,199	